

# 「ウチダザリガニ」モニタリング報告

## 1. 目的

環境省の指定した特定外来生物ウチダザリガニの曽原湖における生息状況、捕獲状況を分析することを目的とする

## 2. 結果

- (1) 曽原湖での捕獲数は延べ 143 匹であった。
- (2) 月別で見ると 7 月 56 匹、8 月 48 匹、10 月 39 匹であった。
- (3) オスとメスの比率は 7 月 19 匹 37 匹、8 月 6 匹 48 匹、10 月 21 匹 18 匹で 10 月だけオスのほうが多く捕獲することができた。
- (4) 地点別で見ると北の A 地点が 27 匹、東の B 地点が 29 匹、南の C 地点が 58 匹、西の D 地点が 29 匹で、一番多くとれたのは南の C 地点であった。

## 3. 考察

- (1) A 地点において、7 月、8 月の捕獲数は一番少なかったが、10 月の捕獲数は逆に一番多かった。この結果から、ウチダザリガニが季節によって湖内を移動している可能性が示唆される。但し、今回の結果だけでは不明な点も多く、もっと詳しく調べていく必要がある。
- (2) 平成 24 年度の調査において、10 月下旬でも卵を体外で抱いている個体を捕獲することはできなかった。
- (3) 7 月、8 月はメスの捕獲割合が高く、それぞれ 66%、88% であった。今回の調査ではメスを効果的に捕獲することができた。今後もモニタリング調査を続けていくことで、メスの取れやすい時期を把握していきたい。

## 4. 概要

- (1) 実施期日
  - \* 平成 24 年 7 月 30 日、31 日(雷雨のため D 地点のみ 31 日回収)
  - \* 平成 24 年 8 月 20 日
  - \* 平成 24 年 10 月 14 日(アクアイベントのため A 地点のみの実施)、残りの 3 地点は 30 日に実施
- (2) 調査者
  - \* 五十嵐悟・野沢沙樹(NPO 法人わかば自然楽校)
  - \* 伊藤延廣・真野真理子・立花千秋(裏磐梯エコツーリズム協会)
- (3) 調査項目および結果
  - \* ウチダザリガニの体長・頭胸甲・欠損状況の結果を表 1 に示す。また、調査地点を図 1 に、捕獲数のデータを表 2 に示す。

以上